

留学報告書 ～アメリカ留学で感じたこと～

コー大学
外国語学部生（長期）

私は8月15日から12月の上旬の間アメリカのコー大学に留学していました。今までに実家を離れ、数カ月といった長い間、海外で生活をしたことが無かったのでとても新鮮な感覚でした。また今までに他の人とルームシェアをしたことが無かったのでとてもワクワクしていたことを覚えています。

アメリカに住んで気づいたこと

自分の性格は楽観的なので問題が起きても何とかなるという感じで今まで生きてきたのですが、アメリカではそういった根拠のない自信だけでは生きていけないと感じる事がありました。その理由は言語の壁と文化の違いだと思います。

日本には、日本人がたくさんいて、宗教も仏教系・神道系の二つが大半で教育も文科によって教育内容も統一されています。アメリカは移民の国と言われている通り色々な国から来た人がいて、宗教も様々で、また教育も州ごとに教育内容が違います。コー大学も半数以上の学生がアメリカ外から来た学生でグローバルな環境でした。また日本とは違い色々な面でルールが緩いと感じる事もありました。なので自分の意見をはっきり伝え相手からの理解を得ることが大切だと感じました。特にルームメイトと生活をする中でも気になった事ははっきり伝えないといけない場面が沢山ありました。こういった場面では自分には、コミュニケーション能力がもっと必要だと感じました。アメリカ人は自分の思っていることを伝えるのがうまく、コミュニケーション能力もすごく高いと感じることがよくありました。こういったことは授業中の姿を見ても感じました。疑問に思ったことがあれば教授が話している途中でも何の躊躇もなく質問し自分の意見を表明します。

クラブ

僕は、アルティメットフリスビークラブとインターナショナルクラブの2つに所属していました。アルティメットフリスビークラブは、月・水・金の、週3回放課後に3時間ほど練習があり週末には他の州に試合をしに行くことがありました。ハロウィンには、コスプレフリスビー大会がミネソタ州で開催され、僕もコスプレをして大会に出ました。午前中は凍えるような寒さだったのですが、アメリカ人は皆平気そうでした。この競技は勝ち負けには

あまりこだわらず、相手チームとフレンドリーに楽しむスポーツです。試合後には相手チームと円陣をくみギフト交換をしたり乾杯したりします。アルティメットフリスビーのメンバーと一緒にいる時間が多く、友達もたくさん作ることができたので一番の思い出です。



※トーナメント

※メンバーからもらったフラッグ

インターナショナルクラブクラブではシカゴに旅行に行ったりカルチャーショーに出演したりしました。シカゴの旅行では初めての NBA の試合を生で観てすごい迫力で終始圧倒されていました。



※マイケルジョーダンの銅像と写真

またカルチャーショーでは、早稲田大学からの学生と名古屋学院大学の学生で、よさこいを踊りました。時間をかけて練習をしたかいもあり。満員の会場も盛り上がっていました。ま

た色々な国のショーを見ることで各国の文化に触れることができました。クラブ以外ではアメリカ人の友達とよくバスケットボールをしていました。バスケットをする友達の英語、特に黒人系の話す英語はアクセントの起伏が激しくリズムカルな英語でとても聞き取るのに苦労していました。多くの友達はこの二つのクラブとバスケットで遊ぶことができ、留学生生活をより楽しく充実させることができたと思います。ある日本人の留学生はアメリカに来たからと言って、特別なことをする必要はない。と言っていたのですがそれは絶対に勿体ないとおもいます。自分が少しでも興味があることには積極的に挑戦したほうがいいと思います。そこから友達の輪も広がり、生活が充実して楽しくなると感じたからです。

コー大学で良かった感じたこと

留学を終えてコーでの生活を振り返ってみると自分が最高の環境で生活していたことに気づきました。コー大学の良いところは自分の中では、5つあります。

1つ目は半数以上の生徒がアメリカ外から来ている生徒で国際色が豊かなことです。なので日本人だからといってマイノリティーを感じる事はあまりなく生活しやすかったと思います。



※インターナショナルクラブの友達

色々な国の友達できその国の文化を知ることができました。たまにですが学食が各国の料理を振る舞ってくれたりします。

2つ目の良いところは、頻繁にイベントが開催されることです。学内で演奏会・お笑い・劇・ホームカミングパーティーなどが開催されました。こういったイベントを通してアメリカの文化について知ることができたり、自分が普通の生活をしていたら経験できないようなことを沢山経験することができました。

3つめは生徒数が少なく教授の人数が多いことです。生徒が少ないので友達ができやすいと感じました。また全寮制ということもあり友達ができやすいと感じました。また、教授と生徒の会話がカジュアルで距離感がとても近いと感じました。またテスト週間になると普段は空いていない時間帯にカフェが空き教授たちが夜食を振る舞ってくれました。生徒と一丸となってテストに挑む感じがとてもいいと感じました。

4つ目が施設です。コー大学で約半年間生活をして退屈だと感じる事がほとんどありませんでした。なぜならコー大学にはロッククライミング・プール・テニス場・2階建てジム・映画館・卓球・アイスホッケー。ビリヤードなど充実した施設が整っているからです。またコー大学の周辺にはファストフード店が並んでいるので食事もすることができとてもいい立地でもあります。

5つ目がESLの先生がとても親切で行動的なことです。授業外で、アメリカのハロウインの経験をさせてくれたり、ホストファミリーを紹介してくれたり、ESLの生徒全員でディナーに連れて行ってってくれたりしました。また生活の指導も月に一度あり困った事は何でも親身になって聞いてくれました。ルームメイトとの問題や健康問題など一人では解決できないような問題もサポートしてくれました。

この留学を通してもっと英語能力を伸ばしたいと思うことができ、また自発的に行動して自分の意見を持ち表現することの大切さも学びました。この経験を今後の就職活動や将来にいかしていきたいです。